

1. 略歴

- 2001年3月 神戸大学法学部法律学科卒業
2001年4月 京都大学大学院人間・環境学研究科環境相関専攻博士前期課程入学
2003年3月 同修了
2003年4月 京都大学大学院人間・環境学研究科共生文明学専攻博士後期課程進学
2007年3月 同 研究指導認定退学
2007年7月 移住労働者と連帯する全国ネットワーク専従事務局員（～2009年3月）
2009年4月 日本学術振興会特別研究員（PD）（～2011年9月）
2010年3月 博士（人間・環境学）学位取得
2011年10月 岡山大学大学院社会文化科学研究科准教授（～2016年9月）
2016年10月 大阪大学大学院人間科学研究科准教授（～2021年3月）
2021年4月 東京大学大学院人文社会系研究科准教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

国際社会学・移民研究

b 研究課題

- (1) 在日移民の帰属と排除に関する経験的・理論的研究
(2) 日本における移民政策・実践についての経験的・理論的研究

c 概要と自己評価

(1) に関しては、移民女性の帰属についてこれまで実施してきたインタビューをまとめつつ、理論的検討を行い、その成果を学会で報告した。また非正規移民の帰属と排除に関する論文を執筆した。(2) については、2018年の入管法改正の政策過程に関してインタビュー調査を実施するとともに、学会報告を行った。また移民の共生／統合をめぐる関連論文を執筆するとともに、ジャーナルの特集号を企画した。さらに2021年度は、大阪の多文化共生施策と実践について主催してきた共同研究の最終年度にあっていた。そのため、研究の集大成としてオンラインシンポジウムを実施するとともに、編著を発行した。

d 主要業績

(1) 論文・著作

- 単著、高谷幸、「移民・多様性・民主主義——誰による、誰にとっての多文化共生か」岩渕功一『多様性との対話』、青弓社、pp.68-92、2021
単著、高谷幸、「移民の統合／共生をめぐる理念・再考」『理論と動態』13、pp.9-11、2021
単著、高谷幸、「時間への関与と現代日本におけるメンバーシップの境界」『対抗言論』2、pp.344-352、2021
編著、高谷幸編著、『多文化共生の実験室：大阪から考える』青弓社、p.298、2022
共著、Higuchi, Naoto, Takaya, Sachi and Inaba, Nanako, "Poverty of migrants in Japan," Sakai, Kazunari and Lanna, Noemi eds., *Migration governance in Asia: A multi-level analysis*, Routledge, pp.61-80, 2022
単著、高谷幸、「入管収容所とは何か」『文化交流研究』35、pp.59-67、2022

(2) 学会・研究会報告

- 高谷幸、「移民の帰属に関する理論」日本社会学会、2020年11月1日、オンライン
TAKAYA Sachi, "A Place of belonging or experiencing domination?: Negotiating making a "home" for migrant women with intermarriage status in Japan," *IVISA Forum of Sociology*, 21. 2. 26, online.
TAKAYA Sachi, "A step to liberal democratic membership or refinement of developmental membership?: The meaning of new residential status in Japan," 16th International Conference of the *European Association of Japanese Studies*, 2021. 8. 26, online.
TAKAYA Sachi, "Stepped developmental membership and its effects: Considering the new residential status in Japan," *The 2nd Congress of East Asian Sociological Association*, 21.10.30, online.
高谷幸、「多文化共生の大阪モデルとは」『多文化共生の実験室：大阪から考える』出版記念シンポジウム 大阪の教育、子ども・若者支援から「多文化共生」を考える、2022.3.27、オンライン

(3) その他

高谷幸、「共感と想像力のあわいで」、『We learn』801、p.3、2020.8

TAKAYA, Sachi, “Japan today and the German experience,” *MINPAKU Anthropology Newsletter*, 50, pp.6-7、2020.10

高谷幸、「公正な移民社会を実現するために」、『労働の科学』75(10)、pp.4-38、2020.10

高谷幸、「外国人市民の安全・安心な暮らしのために—検討会議委員長からの意見」、八尾市人権文化ふれあい部 文化国際課『八尾市外国人市民情報提供等ニーズ調査報告書』、pp.61-64、2021.3

高谷幸、「“the people”を考えませんか」、『BIG ISSUE』406、p.10、2021.4

高谷幸、「(ひととく) 入管行政を問う 民主的統制難しい 構造的欠陥」、『朝日新聞』、2021.5.29

高谷幸、「働くことの豊穡な糧」、『BIG ISSUE』421、p.11、2021.12

高谷幸、書評・清水睦美他著『日本社会の移民第二世代——エスニシティ間比較でとらえる「ニューカマー」の子どもたちの今』、『図書新聞』、2022.1

高谷幸、「外国人市民の経済生活におけるコロナの影響」豊中市・財団法人とよなか国際交流協会『コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査研究報告書』 pp.112-118、2022.2

高谷幸、書評・川本綾著『移民と『エスニック文化権』の社会学』、『市大社会学』17、pp.28-31、2022.3

3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、大阪大学大学院人間科学研究科、2021.4～9、2022.4～9

講演、「移民・移民ルーツの人びとが暮らしやすい社会に変えていくために」、福岡県人権啓発情報センター 県民講座 2020、2020.8.29

講演、「移民・移民ルーツの人びとが暮らしやすい社会とは」、近畿大学 近畿大学人権講演会、2020.10.5-16、オンライン

講演、「移住(外国人)労働者の受け入れと、今後の地域まちづくり」、徳島県立人権教育啓発推進センター 人権教育啓発リーダー養成講座、2021.2.10

講演、「現代日本における移民の貧困」、総務省地方行財政ビジョン研究会、2021.12.13、オンライン

講演、「移民社会のジェンダーと貧困」、外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連絡協議会(外キ協) 2022年「移民社会からのメッセージ」、2022.1.21、オンライン

講演、「外国人市民の経済生活におけるコロナの影響」、大阪府豊中市「コロナ禍を乗り越えるには～コロナ禍における外国人市民の生活等への影響に関する調査研究報告から」、2022.2.20、オンライン

講演、「日本の移民政策の課題・未来」、ME-net フォーラム、2022.3.20、オンライン

(2) 学会

国内、社会理論動態研究所、『理論と動態』編集委員、～2020

国内、日本社会学会、社会学評論専門査読委員、2021.11～

(3) 行政

大阪府八尾市外国人市民会議副座長及び外国人市民情報提供ニーズ等調査委員会委員長、～2021.3

大阪府豊中市コロナ禍における外国人の生活等への影響に関する調査研究のための専門部会副会長、2021.4～2022.3

(4) 学外組織(学協会、省庁を除く)委員・役員

特定非営利活動法人 移住者と連帯する全国ネットワーク理事、2021～